

平成24年度(25年3月期) 中間決算の概要

平成24年11月9日



目 次

I. 平成24年度(25年3月期)中間決算の概要	
1. 損益状況	
(1) 業務純益・コア業務純益	1
(2) 経常利益	2
(3) 中間純利益	3
2. 業務計数	
(1) 貸出金	4
(2) 預金・預り資産	5
3. 不良債権	6
4. 自己資本比率	7
II. 平成24年度(25年3月期)業績予想	8

※本資料の前年同期比・増減率欄等の計数は、表上の数値による計算結果を表示しております。

I. 平成24年度(25年3月期)中間決算の概要

1. 損益状況

(1) 業務純益・コア業務純益

○業務純益は、前年同期比2億3千9百万円減少し、27億3千4百万円。

役務取引等利益や国債等債券関係損益の増加、一般貸倒引当金の戻入益の計上などの増益要因があったが、資金利益が減少したほか、将来を見据えた次期システム移行準備に伴う経費の増加などにより、前年同期比で減益となった。

○コア業務純益は、前年同期比7億6千8百万円減少し、21億8千1百万円。

(単位：百万円)

項目	24年9月期 (A)	23年9月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
業務純益	2,734	2,973	△ 239
コア業務純益	2,181	2,949	△ 768

【業務純益の変動要因】

○主な増益要因

(単位：百万円)

項目	24年9月期 (A)	23年9月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
役務取引等利益	220	189	31
国債等債券関係損益	199	24	175
一般貸倒引当金繰入額	△ 354	-	△ 354

○主な減益要因

(単位：百万円)

項目	24年9月期 (A)	23年9月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
資金利益	9,146	9,751	△ 605
経費	7,201	7,008	193
うち物件費	2,951	2,713	238

※資金利益の変動内訳

(単位：百万円)

項目	前年同期比
預貸差利益 ① (②-③)	△ 432
貸出金利息 ②	△ 528
預金利息 ③	△ 96
有価証券利息配当金 ④	△ 150
その他 ⑤	△ 23
資金利益 (①+④+⑤)	△ 605

(2) 経常利益

○経常利益は、前年同期比4億1百万円減少し、10億3千9百万円。

株式等関係損益が改善したが、業務純益の減少や不良債権処理額の増加により、前年同期比で減益となった。

(単位：百万円)

項目	24年9月期 (A)	23年9月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
経常利益	1,039	1,440	△ 401

【経常利益の変動要因】

○主な増益要因

(単位：百万円)

項目	24年9月期 (A)	23年9月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
株式等関係損益	△ 213	△ 299	86

○主な減益要因

(単位：百万円)

項目	24年9月期 (A)	23年9月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
業務純益	2,734	2,973	△ 239
不良債権処理額	1,426	1,288	138

<参考>実質与信関係費用

(単位：百万円)

項目	24年9月期 (A)	23年9月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
実質与信関係費用(①+②-③-④)	950	1,041	△ 91
①一般貸倒引当金繰入額	△ 354	-	△ 354
②不良債権処理額	1,426	1,288	138
うち個別貸倒引当金繰入額	781	-	781
うち貸出金償却	572	1,207	△ 635
③貸倒引当金戻入益	-	137	△ 137
④償却債権取立益	121	109	12

(3) 中間純利益

○中間純利益は、前年同期比4億6千6百万円減少し、6億5百万円。

経常利益が減少したほか、法人税等調整額を含めた税金費用の増加により前年同期比で減益となった。

(単位：百万円)

項目	24年9月期 (A)	23年9月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
業務粗利益	9,582	9,981	△ 399
コア業務粗利益	9,382	9,957	△ 575
経費	7,201	7,008	193
業務純益	2,734	2,973	△ 239
コア業務純益	2,181	2,949	△ 768
経常利益	1,039	1,440	△ 401
(経常収益)	11,009	11,794	△ 785
(経常費用)	9,969	10,353	△ 384
特別損益	△ 22	△ 71	49
税引前中間純利益	1,016	1,369	△ 353
法人税、住民税及び事業税	472	275	197
法人税等調整額	△ 62	21	△ 83
中間純利益	605	1,071	△ 466

2. 業務計数

(1) 貸出金

○貸出金残高は、前年同期比24億円(0.2%)増加し、8,724億円。

資金需要の低迷により事業者向け貸出は減少したが、住宅ローンを中心に個人向け貸出が増加したほか、地公体向け貸出が増加した。

(単位：億円)

項目	24年9月末 (A)	23年9月末 (B)	前年同期比(C) (A) - (B)	増減率 (C) / (B)
貸出金残高	8,724	8,700	24	0.2%
事業者向け	5,139	5,345	△ 206	△ 3.8%
個人向け	2,579	2,535	44	1.7%
うち住宅ローン	2,372	2,320	52	2.2%
地公体向け	1,005	820	185	22.5%

(2) 預金・預り資産

○預金残高は、前年同期比50億円(0.4%)増加し、1兆2,289億円。

個人預金を中心に増加した。

○預り資産残高は、前年同期比54億円(4.6%)増加し、1,208億円。

一時払い終身保険を中心に生命保険が順調に増加したほか、公共債が増加した。
投資信託は、市況の低迷により販売額が減少したことを受け、減少した。

(単位：億円)

項目	24年9月末 (A)	23年9月末 (B)	前年同期比(C) (A) - (B)	増減率 (C) / (B)
預金残高	12,289	12,239	50	0.4%
うち個人	9,195	9,110	85	0.9%
うち法人	2,543	2,525	18	0.7%

(単位：億円)

項目	24年9月末 (A)	23年9月末 (B)	前年同期比(C) (A) - (B)	増減率 (C) / (B)
預り資産残高	1,208	1,154	54	4.6%
公共債	563	550	13	2.3%
投資信託	313	338	△25	△7.3%
生命保険	309	240	69	28.7%
外貨預金	22	25	△3	△12.0%

3. 不良債権

○不良債権額(金融再生法)は、24年3月末より1億円減少し、411億円。

取引先の業況悪化等により危険債権は増加したものの、不良債権の最終処理を進め、破綻先および実質破綻先債権が減少したことから、減少した。

○不良債権比率は、24年3月末より0.01ポイント上昇し、4.67%。

(単位：億円)

項目	24年9月末			24年3月末	23年9月末	
		24年3月末比	23年9月末比			
金融再生法開示債権	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	73	△ 6	△ 15	79	88
	破綻先債権	15	△ 4	△ 10	19	25
	実質破綻先債権	57	△ 3	△ 6	60	63
	危険債権	327	5	55	322	272
	要管理債権	10	0	△ 18	10	28
	小計(A)	411	△ 1	22	412	389
	正常債権	8,399	△ 44	1	8,443	8,398
	債権額合計(B)	8,810	△ 46	22	8,856	8,788
不良債権比率(A/B)	4.67%	0.01 ^{ポイント}	0.23 ^{ポイント}	4.66%	4.44%	

4. 自己資本比率

○自己資本比率は、単体が前年同期比0.41ポイント上昇し、12.43%、連結が同0.44ポイント上昇し、12.46%。

○Tier1比率は、単体が9.61%、連結が9.62%で、引続き十分な水準を維持。

(単位：億円)

項目		24年9月末			24年3月末	23年9月末
			24年3月末比	23年9月末比		
単 体	自己資本比率	12.43%	0.09 ^{ポイ ント}	0.41 ^{ポイ ント}	12.34%	12.02%
	Tier1比率	9.61%	0.13 ^{ポイ ント}	0.20 ^{ポイ ント}	9.48%	9.41%
	自己資本	748	0	17	748	731
	リスクアセット	6,021	△ 43	△ 64	6,064	6,085
連 結	自己資本比率	12.46%	0.09 ^{ポイ ント}	0.44 ^{ポイ ント}	12.37%	12.02%
	Tier1比率	9.62%	0.13 ^{ポイ ント}	0.20 ^{ポイ ント}	9.49%	9.42%
	自己資本	752	0	19	752	733
	リスクアセット	6,038	△ 42	△ 64	6,080	6,102

II. 平成24年度(25年3月期)業績予想

(単位：百万円)

項 目	通 期 (25 年 3 月 期)	
	連 結	う ち 単 体
経 常 利 益	2,320	2,280
当 期 純 利 益	1,310	1,290

(注) 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。